

名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2021年度版)



SDGsセンターの開設セレモニー及びSDGs IDEA FORUM 2020 で最優秀賞を受賞した本学学生デザイン自動販売 機の除幕式を開催！



<p>活動の概要</p>	<p>2021年5月14日、本学に開設した「名古屋市立大学SDGsセンター（NCU SDGs Center）」のオープニングセレモニーを山の畑キャンパス1号館にて開催しました。SDGsセンター長の薬学研究科 林教授の挨拶に続き、参列した名古屋市総務局の関嶋主幹、池田主幹よりお祝いの言葉が送られました。</p> <p>また、SDGsセンターの活動の第一弾として、本学人文社会学部の学生とコカ・コーラ ボトラーズジャパン（株）とのコラボレーションにより、学生デザインのイラストをラッピングした自動販売機が同大学山の畑キャンパスに設置され、その除幕式も行われました。デザインは、大学生のアイデアで名古屋市の地域課題の解決を目指す「SDGs IDEA FORUM 2020」で最優秀賞を受賞した人文社会学部学生グループ「NCU Global Justice Project」が、海洋プラスチックゴミ問題の解決の一環として企画したものです。</p> <p>今後も本学では、行政、産業界、金融界などの各機関との連携を深めながら、国際社会共通の課題に積極的に取り組んでまいります。</p>
<p>活動の時期</p>	<p>2021年5月</p>



名古屋市立大学SDGsセンター 開設セレモニーの様子



自動販売機の除幕式の様子

プラスチック容器の完全回収を目指して 東山動植物園 でデポジット制の社会実験を実施！



<p>活動の概要</p>	<p>2021年11月3日、本学の人文社会学部の学生団体「NCU Global Justice Project」が、ペットボトルの確実な回収を実現するため、東山動植物園でデポジット制の社会実験を行いました。</p> <p>この企画は、2021年2月に開催された名古屋市主催のSDGs IDEA FORUM 2020(※)において、「NCU Global Justice Project」が発表し最優秀賞を獲得したアイデアの一部を具体化したものです。東山動植物園内で20円のデポジットをペットボトル飲料に上乗せして購入し、飲み終わった後に各出口に設置された回収場所でペットボトルを返却すると20円が返金される仕組みです。</p> <p>当日の社会実験には、プラスチックごみの問題などに関心を持ってもらおうと、35人の学生などが参加しました。今回の結果は、論文などにまとめるほか、ペットボトル以外の様々なプラスチック容器の回収に向けた活動などにも応用していく予定です。</p>
<p>活動の時期</p>	<p>2021年11月</p>
<p>関連URL</p>	<p>当日の様子は、TV・新聞などのメディアでも報道されました。</p> <p>メーテレ NEWS 中日新聞WEB</p>



販売場所の様子



回収場所の様子

※SDGs IDEA FORUMの詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。

[SDGs IDEA FORUM](#)

名古屋市SDGs推進プラットフォームによるプロギングに参加！



<p>活動の概要</p>	<p>本学SDGsセンター長である林教授と事務職員3名が、2021年12月4日（土）に名古屋市SDGs推進プラットフォーム会員限定交流イベントとして開催された「プロギング」に参加しました。</p> <p>「プロギング」とは、ごみ拾いとジョギングを合わせたスウェーデン発の新フィットネスで、走って健康に、拾ってエコに、環境と健康の両方にやさしいSDGsを体現できる新しいスポーツです。</p> <p>本学から参加したチームは、会場となった丸の内エリアを中心に、2km強ほどの距離をジョギングしながらごみ拾いを行いました。</p> <p>今回のプロギング全体では、35kgものゴミを拾いました。</p> <p>本学では今後も、名古屋市と連携し、SDGs達成に向けた活動を積極的に推進していきます。</p>
<p>活動の時期</p>	<p>2021年12月</p>
<p>関連URL</p>	<p>名古屋市SDGs推進プラットフォーム×プロギング</p>



「マイナビ学生の窓口」に本学学生のSDGs活動が登場！



活動の概要	マイナビの学生向け情報メディア「マイナビ学生の窓口」内の特集「大学生と考えるSDGs」で、本学人文社会学部伊藤恭彦教授ゼミの活動（NCU Global Justice project）が紹介されました。
活動の時期	2021年12月
関連URL	価値観の変容から循環型社会の表現を目指して～NCU Global Justice Projectの取り組み～



国費留学優先配置(特別枠)事業「環境健康安全学」プログラム



活動の概要	主に東南アジア諸国の①海外拠点校②大学間交流協定校から選抜された国費留学生に加え、本学の医学研究科、薬学研究科、理学研究科に入学した私費留学生と日本人学生が、「環境健康安全学」に関連した教育と研究を協働して行います。このプログラムでは、通常環境健康安全学に関連する講義科目の受講および研究に従事することに加えて、グローバルレベルでのSDGsに関連した課題について議論し解決策を提示するアクティブラーニングやSDGs関連機関でのインターンシップを行うなどの特色があります。
活動の時期	2020年度～2026年度
関連URL	MEXT scholarship 国際交流・留学 名古屋市立大学 (nagoya-cu.ac.jp)
期待される効果、今後の展望	このプログラムで学んだSGSに関連する知識や経験を元に、プログラム受講生は東南アジア地域等でのSDGs関連のリーダーになることが期待されています。また、このプログラムの履修を通じて培われた人脈は、グローバルレベルでのSDGs課題解決に役立つことも期待されています。
所属	医学研究科、薬学研究科、理学研究科
氏名	高橋智、上島通浩、安井孝周、頭金正博、肥田重明、熊澤慶伯、雨夜徹
専門分野	公衆衛生、環境科学、衛生化学、生態学



一期生アクティブラーニング発表会

動物園飼育下の大型類人猿人工繁殖と遠隔診療ネットワークの構築



活動の概要	オランウータンメス個体の生体活性物質の月経周期における変化を排卵の予知に応用する可能性を検討し、ヒトの精子調整法をオランウータンの精液で検討しました。その結果、千葉動物公園に2回のオランウータンの人工授精を遂行しました。 ヒトにおける“人間ドック”に相当する健康診断や診療を動物園飼育下の大型類人猿に応用しました。インターネットを利用した遠隔診療システムを構築し、迅速な診断と早期治療を可能にしました。
活動の時期	論文発表：2019年、2020年、2021年
関連URL	千葉県動物公園WEBサイト
	京都大学霊長類研究所 年報
	ボルネオオランウータンとチンパンジーの精液液状部および凝固部における精子運動性を比較
researchmap URL	https://researchmap.jp/yasuhikoozaki
関連する論文	1, Urinary sex steroid hormone and placental leucine Aminopeptidase concentration differences between live births and stillbirth of Bornean orangutans (<i>Pongo pygmaeus</i>), Kinoshita K, Sano Y, Takai A, Shimizu M, Kobayashi T, Ouchi A, Kuze N, InoueMurayama M, Idani G, Okamoto M, Ozaki Y. <i>Journal of Medical Primatology</i> , 46 (1), 3-8, 2017. 2, Seminal characteristics of great apes possessing seminal coagulum: Bornean orangutan (<i>Pongo pygmaeus</i>) and chimpanzee (<i>Pan troglodytes</i>), Kinoshita K, Indo Y, Tajima T, Kuze N, Miyakawa E, Kobayashi T, Nakamura T, Ogata M, Okumura F, Hayakawa T, Morimura N, Mori Y, Okamoto M, Ozaki Y, Hirata S. <i>Scientific Reports</i> , 2019. 3, Gynaecological diagnosis by ultrasound and the measurement of urinary sex steroid hormone in female orangutans (<i>Pongo spp.</i>), Kinoshita K, Nakamura T, Kimura K, Shimizu M, Kuze N, Ozaki Y., <i>Vet Med Sci.</i> 2020;00:1-5. 4, Comparative analysis of sperm motility in liquid and seminal coagulum portions between Bornean orangutan (<i>Pongopygmaeus</i>) and chimpanzee (<i>Pan troglodytes</i>). Kinoshita K, Indo Y, Tajima T, Kuze N, Miyakawa E, Kobayashi T, Nakamura T, Ogata M, Okumura F, Hayakawa T, Morimura N, Mori Y, Okamoto M, Ozaki Y, Hirata S. <i>Primates</i> . 2021 May;62(3):467-473.
期待される効果、今後の展望	現在ヒトで行われている生殖医療、不妊治療や周産期医療を人工飼育下の類人猿繁殖計画に応用します。またヒトの健康診断システムや治療法を動物に適応させるという独創的な本研究は“人と動物と環境に優しい名古屋市立大学”として生物学、獣医学や環境学との異分野融合型研究を展開することが期待されます。数多くの貴重な動物の命の犠牲のもとに発展して来たヒトの医療を動物たちに還元することが本研究のメインコンセプトです。
所属	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター産婦人科
氏名	尾崎 康彦
専門分野	産婦人科学、生殖免疫学、周産期医学



ニシローランドゴリラの婦人科検査（経膈超音波・頸部細胞診）
2019年 恩賜上野動物園



ニシローランドゴリラの婦人科検査（CT読影）
2019年 恩賜上野動物園